



写真提供：石川県ふれあい昆虫館

## 石川県指定

### 希少野生動物植物種

自然破壊や、乱獲等により多くの生き物たちが数を減らしている。その中には緊急に保護を必要とする種があることから3月31日、石川県指定希少野生動物植物種の第1次指定が行われた。指定を受けたのは、淡水魚のトミヨ、昆虫のイカリモンハンミヨウ、シャープゲンゴロウモドキ、被子植物のウミミドリノ4種。

この4種の内、七尾にはシャープゲンゴロウモドキの生息が数ヶ所で確認されている。

## 水棲昆虫のすむ自然公園

その中のひとつに、シャープゲンゴロウモドキの生息する休耕田を利用した生息地と溜池からなる自然公園がある。

この自然公園は、生息が確認されたシャープゲンゴロウモドキを保護するため、隣接地に自然公園として整備し、生き物たちがすみつくようになったものである。

五月晴れの陽気に誘われるように水生昆虫のすむ自然公園へ出かけてみることにした。

公園は七尾湾と森に挟まれたとても静かな場所にある。この場所からは、青い七尾湾とそれにも勝る、爽やかな新緑の色彩を眺めることができる。この景色は「シャープゲンゴロウモドキ」にはどのように写っているのだろうか。

園内は、枯れた草かしに覆われ、季節に取り残されたように見えたが、枯れた草の根元には新芽が伸びてきており、ここも新緑の季節であった。

この自然公園は、水を引いた休耕田の周囲に杭を打ちロープで囲っただけのシンプルな造りで、公園というより水生生物の保護区といった感じを受ける。

園の周りも同じような草に覆われた休耕田であり、水生昆虫たちが生活するにはとてもいい場所である。

## 春のトンボ

園内やその周囲にはトンボが飛びかっていた。一般にはトンボは夏や秋の昆虫だと思われるが、春には春のトンボがいる。春のトンボは種類も少なく、ひっそりと暮らすタイプが多いので、意外に見つけづらい。この公園は「ひっそり暮らす」にはもってこいの場所である。

トンボが舞う姿をしばらく眺めていたが、本命のシャープゲンゴロウモドキを探してみることにした。



## メダカの学校

休耕田を利用した生息地を周囲から探してみたが見つけることはできなかった。しかし、最近ではあまり